



株式会社 鶴見製作所
証券コード：6351

第70期 中間報告書

2020年4月1日→2020年9月30日

Contents

トップメッセージ.....	P1
部門別の概況・財務ハイライト	P2
トピックス.....	P3
連結財務諸表.....	P4
会社概要・株式の状況	P5
製品紹介.....	P6

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り有難く厚くお礼申しあげます。

このたび、当社グループは、第70期中間決算（2020年4月1日から2020年9月30日まで）を終了しました。

ここに中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化や新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による様々な経済活動の停滞に伴い、企業業績や個人消費が悪化し、輸出・生産が急激に減少するなど極めて厳しい環境にありました。5月の緊急事態宣言解除後に持ち直しの兆しがありましたが、再度感染者数が増加するなど景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で当社グループは、各課題を確実に実行していくことにより業績の向上に努めました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、202億30百万円と前年同期比1.1%の減収、コロナ禍における様々な活動の縮小及びWeb会議システムの活用等による経費削減効果により、営業利益は、22億3百万円と前年同期比6.9%の増益、また、有価証券運用益を1億53百万円計上したこと、前年同四半期において3億2百万円計上していた為替差損が1億50百万円に減少したこと等により経常利益は、25億48百万円と前年同期比18.9%の増益、親会社株主に帰属する中間純利益は、18億6百万円と前年同期比12.1%の増益となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき

14円とさせていただきました。

今後のわが国経済は、各種政策の効果や海外経済の改善により、持ち直しの傾向で推移するものと思われませんが、未だ新型コロナウイルス感染症の感染収束が見えないことから、依然として景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われます。

その中で当社グループにおきましては、社会インフラ基盤に対して必要不可欠な製品を供給するという責任を踏まえたうえで、中期3ヶ年経営計画「BASE100」の最終年度として、有終の美を飾れるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

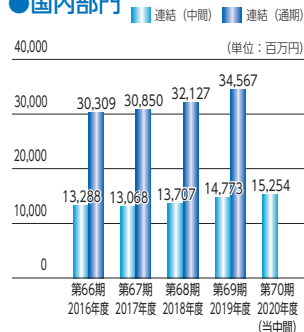


2020年12月

代表取締役社長

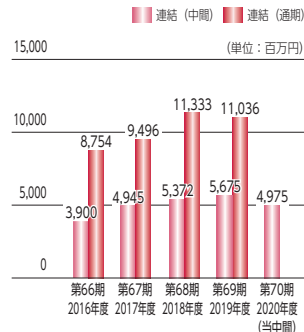
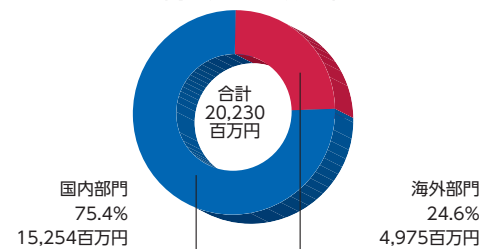
辻 治

●国内部門



●海外部門

部門別売上構成比率



国内部門につきましては、建設機械市場において、引き続き災害復旧工事用ポンプの需要はありましたが、レンタル業界向け水中ポンプなどの需要が減速し、売上高が僅かながら減少しました。

設備機器市場におきましては、公共工事、民間設備向けの真空ポンプや管材関連の売上が増加しましたが、水処理プラント関係、工場設備、脱水機などの売上が減少しましたので全体としましては、売上高はほぼ横ばいで推移しました。

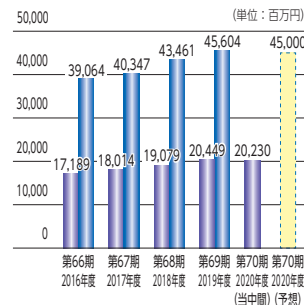
これらの結果、売上高は、152億54百万円と前連結会計年度比3.3%の増収となりました。

海外部門につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による影響で、米国市場におきましては、インフラ需要が回復傾向にあり堅調さを取り戻しつつありますが、各都市のロックダウン等により建設市場及び鉱山市場での需要の減少が見られ、アジア市場でも同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、工事、インフラ物件を含む設備市場での需要が低迷しました。

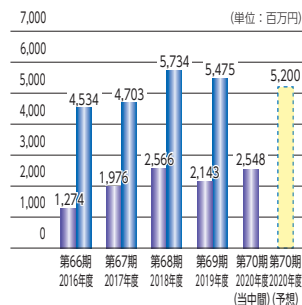
これらの結果、売上高は、49億75百万円と前連結会計年度比12.3%の減収となりました。

連結 (中間) 連結 (通期)

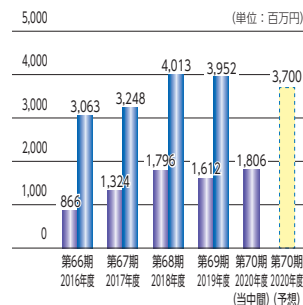
●売上高



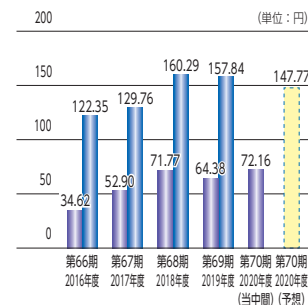
●経常利益



●親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益



●1株当たり中間 (当期) 純利益



■ バーチャル・Web展示会のご紹介

当社における新たな取り組みとして、360° VR技術を活用した【バーチャル・Web展示会】をホームページ上で開催しております。開催時期や場所を問わず、いつでも、どこからでもアクセスできるため、例年通りの展示会開催が制限されるコロナ禍においても、多くのお客様にご来場いただいております。Webコンテンツの活用により、新たな営業・販促機会の創出を図ることで、今後も歩みを止めることなく当社製品のPRに努めてまいります。

◇ ツルミ水害対策展

(<https://tourmake.it/tsurumipump>)

豪雨・台風シーズンにおいて需要が高まる水害対策関連機器をご紹介します



スマートフォンからご覧いただけます。



◇ ツルミ下水道関連機器展

(<https://www.tsurumipump.co.jp/web-exhibition/>)

水中ポンプをはじめ、汚泥脱水機や水処理関連機器などを幅広くご紹介



スマートフォンからご覧いただけます。



●中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (2019年9月30日現在)	当中間期 (2020年9月30日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	41,907	42,657	45,908
固定資産	29,783	32,805	31,030
有形固定資産	12,601	14,577	13,685
無形固定資産	593	1,318	834
投資その他の資産	16,588	16,909	16,509
Point① 資産合計	71,690	75,462	76,939
負債の部			
流動負債	8,697	9,113	12,506
固定負債	2,724	2,444	2,422
Point② 負債合計	11,421	11,558	14,928
純資産の部			
株主資本	57,718	61,013	59,707
資本金	5,188	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,810	7,810
利益剰余金	47,035	50,134	48,828
自己株式	△ 2,402	△ 2,119	△ 2,119
その他の包括利益累計額	1,722	2,059	1,440
その他有価証券評価差額金	1,640	2,061	1,329
為替換算調整勘定	157	127	290
退職給付に係る調整累計額	△ 75	△ 128	△ 179
非支配株主持分	828	831	862
Point③ 純資産合計	60,269	63,904	62,010
負債純資産合計	71,690	75,462	76,939

Point① 資産合計

資産につきましては、75,462百万円と前連結会計年度末に比べ1,476百万円減少しました。これは、主に受取手形及び売掛金が3,080百万円、たな卸資産が383百万円、保有する投資有価証券の時価上昇に伴う繰延税金資産の減少等により投資その他の資産のその他が450百万円それぞれ減少し、短期貸付金の増加等により流動資産のその他が180百万円、有形固定資産が891百万円、無形固定資産が483百万円、投資有価証券が850百万円それぞれ増加したことによるものであります。

●中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当中間期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前 期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	20,449	20,230	45,604
売上原価	13,420	13,459	30,340
売上総利益	7,028	6,770	15,264
販売費及び一般管理費	4,967	4,567	10,097
営業利益	2,060	2,203	5,166
営業外収益	411	546	650
営業外費用	329	201	341
経常利益	2,143	2,548	5,475
特別利益	155	—	155
税金等調整前中間(当期)純利益	2,299	2,548	5,631
法人税、住民税及び事業税	600	631	1,692
法人税等調整額	44	71	△ 86
中間(当期)純利益	1,653	1,845	4,026
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	41	38	74
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	1,612	1,806	3,952

●中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当中間期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前 期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,019	2,544	4,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,556	△ 1,779	△ 3,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	95	△ 564	△ 272
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 340	△ 108	△ 329
現金及び現金同等物の増減額	1,217	91	560
現金及び現金同等物の期首残高	13,523	14,084	13,523
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	14,740	14,176	14,084

Point② 負債合計

負債につきましては、11,558百万円と前連結会計年度末に比べ3,370百万円減少しました。これは、主に支払手形及び買掛金が2,259百万円、未払法人税等が175百万円、賞与引当金が337百万円、固定資産の取得等に伴う未払金の減少により流動負債のその他が619百万円それぞれ減少したことによるものであります。

Point③ 純資産合計

純資産につきましては、63,904百万円と前連結会計年度末に比べ1,893百万円増加しました。これは、主に利益剰余金が1,306百万円、その他有価証券評価差額金が731百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が163百万円減少したことによるものであります。

商 号  株式会社 鶴見製作所
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

大阪本店 〒538-8585
大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号
TEL (06) 6911-2351 (代)
東京本社 〒110-0016
東京都台東区台東1丁目33番8号
TEL (03) 3833-9765 (代)

創 業 1924年1月 5 日
設 立 1948年2月12日
資本金 51億88百万円
従業員 1,111名 (グループ計)
(注) 従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

●主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売（輸出入を含む）並びに賃貸を行っており、それに附随する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、古物商、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

●役 員

代表取締役社長	辻 本 治
取締役副社長	上 英 二
常 務 取 締 役	芝 西 武
取締役執行役員	織 上 村 浩
取締役執行役員	田 田 孝
取締役執行役員	山 田 孝
取締役執行役員	鞠 山 正
取締役執行役員	掛 川 雅
取締役執行役員	田 中 祥
取締役執行役員	亀 井 徹
取締役執行役員	松 本 三
取締役執行役員	足 立 浩
取締役執行役員	高 田 宗
取締役執行役員	原 田 功
取締役執行役員	石 村 秋
取締役執行役員	桂 田 博
取締役執行役員	敦 賀 暢
取締役執行役員	井 上 啓
取締役執行役員	明

(注) 取締役掛川雅仁氏、田中祥博氏、亀井徹氏及び松本 浩氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

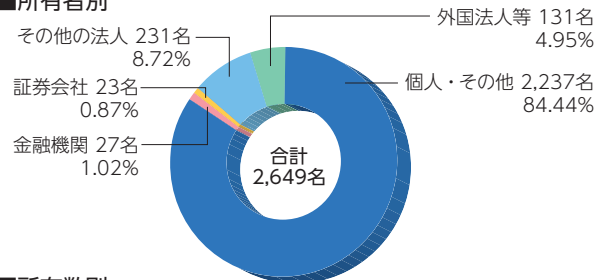
- 発行可能株式総数 100,000,000株
- 発行済株式の総数 27,500,000株
- 株 主 数 2,649名
- 大 株 主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ツ ル ミ 共 栄 会	1,670	6.67
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	1,242	4.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,097	4.38
株式会社T'sコーポレーション	984	3.93
有 限 会 社 ツ ル ミ 興 産	894	3.57
辻 本 晃 利	820	3.28
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	711	2.84
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	700	2.80
デ ン ヨ ー 株 式 会 社	648	2.59
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	535	2.14

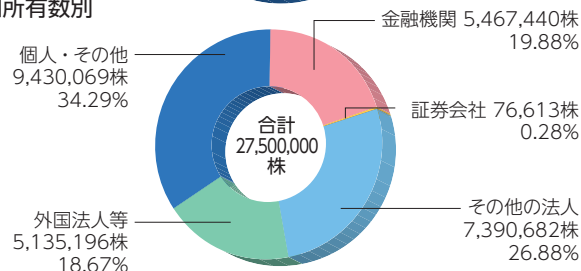
(注) 当社は自己株式2,461千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の状況

■所有者別

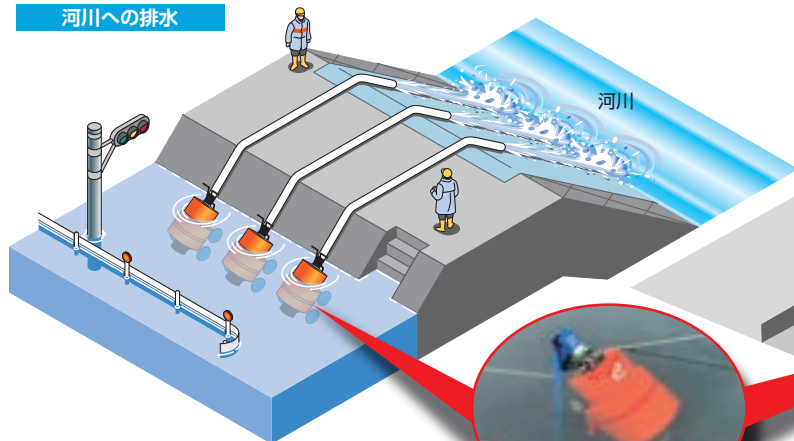


■所有数別

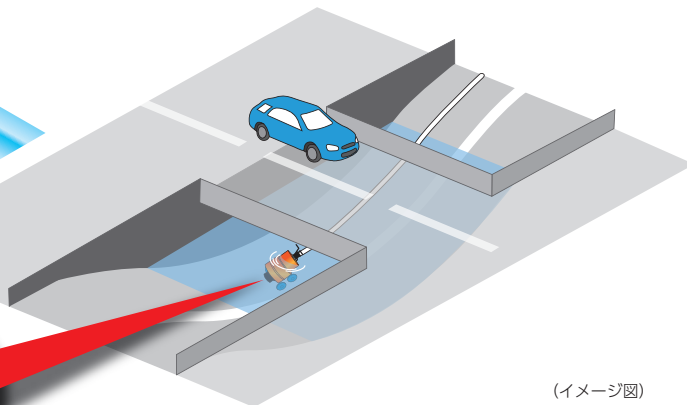


フロート式緊急排水ポンプユニット

河川への排水



アンダーパス排水



(イメージ図)

【特長】

- ・専用フロートによりポンプを浮かせ、池や川底の泥を吸い込むリスクを軽減!
- ・機動性に優れた専用台車を装備!
- ・耐久性に優れたポンプを採用し毎分2m³の吐出し能力を確保!



トラック積載状況



専用台車を利用した投入

冠水時の円滑な内水排除作業に!

特許出願中
GR65.5型



動画

緊急排水ポンプ車

複数台の緊急排水ポンプユニットをはじめ、発電機や制御盤、ウインチなどを搭載した緊急排水ポンプ車としてのご用意も可能です。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネット ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<https://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html>

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

単元(100株)未満株式 買取・買増制度のご案内

当社では、単元株式(100株)に満たない株式の買取を行う「単元未満株式買取制度」、単元株式に不足する株式を買増し、単元株式としていただくことができる「単元未満株式買増制度」を導入しておりますのでご活用ください。

買増制度例



買取制度例



お手続きについて

単元未満株式が記録されている口座によって、お手続きの窓口が異なります。

1. 証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
2. 特別口座に記録されている単元未満株式
当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

ご注意事項

買増、買取単価は、そのご請求が当社株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格です。

ホームページのご案内

<https://www.tsurumipump.co.jp/>



会社案内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この冊子は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。